

## 1 幼稚園の教育目標

昭和22年創立以来、キリスト教の「愛の精神」を根底におき、幼児の発達に相応しい心の教育を行っている。共に喜び、共に育ち合う保育を目指して、保育者は

1. 子ども自身が大切な存在として受け入れられていることを実感し、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れることができる。
2. 目に見えない神の恵みを、常に感謝と喜びをもって受け止め、神に愛され、人にも愛され、喜びをもって人と関わることができる。
3. 自分と他の違いを認めると共に、友だちと共に喜び、共感できるようになる。
4. 主体性を持って心を動かし、探求心、判断力、想像力をもち、創造的に様々なことに関わるようになる。  
感じたこと、考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現力、想像力を身に付ける。

## 2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

1. 教育課程、指導計画が教育要領に基づき、社会状況や幼児の実態、地域性に即して作成されているか定期的に話し合い見直しを行う。
2. 教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かしていく体制を作る。
3. 幼児が様々な活動や豊かな体験をするのに適切な環境を整える。
4. 特別支援を要する園児の援助方法について研修し、実践する。

## 3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価
① 保育の計画性	B	園の教育理念や教育方針について理解し、幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの活動を考慮して、育てたい内容を盛り込んで指導計画を立案し環境構成している。	A
② 保育のあり方 幼児への対応	B	教員は協力、連携してチーム保育を実践している。健康・安全には特に配慮している。新任教員との共通理解を更に深めたい。 幼児一人一人の内面を理解し、優しく温かな援助を行い、発達課題について日々検討している。特別支援を要する園児の援助方法について研修を深める。	A
③ 教師として資質 能力、適正等	B	教師としての専門知識や技能を身に付けようと研修し、努力している。 教師間でお互いの良さ、能力を認め合い、協力し合い、経験年数の多い教員が新任教員の指導にあたっている。「笑顔が少ない」という評価を保護者アンケートから受け、意識改革に努めた。	B
④ 保護者への対応	A	毎月のたより、「ひびき合う」等で幼児の姿や保育の中で大切にしている取り組みについて伝えている。問題が生じた際は迅速に保護者へ連絡をして適切な対応をとるよう努めている。	A
⑤ 地域の自然や地域との関わり	B	地域商店街へ七夕笹飾りの協力、職場体験学習としての中高生の受け入れ等、地域からの要請に関して協力する。毎月一度の未入园児の会は大盛況である。地域の方に保育参加して頂き、園児の体験を深めたい。	A
⑥ 研修と研究	A	外部講師を招聘して保育の見直しを行い、自分の保育について自己課題を見出し反省と評価を行う。又、保育をビデオ撮影し園内研修した。	A
⑦ 外部アンケート	B	教職員全員が一つのチームであることを強く意識していることや、園内研修でより子ども理解を深めようとしていることが保護者に見えにくく、伝わり難い点であることを実感した。	B

- 結果の表示方法 A 十分達成されている  
 B 達成されている  
 C 取り組まれているが、成果が十分でない  
 D 取り組みが不十分である

#### 4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

1. 教育課程、指導計画の作成は教育要領に基づき、子どもの実態把握を中心にしてキリスト教の「愛の精神」を踏まえ保育を進めていく。
2. 常に教師間で意思の疎通を図るため、話し合いを深め、新任教員の指導に力を入れる。
3. 一人一人子どもの興味関心を丁寧に探り、援助のヒントとし保育をより豊かにする。
4. 講師からの助言や特別支援員の来園により、その園児への対応、援助について学べたことで、教師間の共通理解が深まり、適切な援助を行えた。

#### 5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教師の資質向上について	できるだけ多くの研修会等に参加し、園内研修を充実させて、教員一人一人が幼児教育者として成長する。 人間性を高め、自立した教師を目指す。また、教員が継続して勤務し保育することで、一人一人の資質向上に繋げていく。
保護者への対応について	保育は保護者との共同作業であることを踏まえ、保護者との相互理解に基づいた温かな関係を築いていきたい。良い関係性の中で子どもは安心して育っていくと思う。子どもの成長している姿やその過程、また問題になっている事柄についても保護者へまめに伝える努力をしたい。
地域との関わりについて	地域の様々な活動、小学校との連携、また人間関係に目を向けて、地域と共同した保育ができることを心掛けたい。

#### 6 学校関係者評価委員会からのコメント

**環境：**保育室には子ども達が興味関心を持って遊び込める玩具が豊富に用意されている。木のぬくもりを感じる玩具が多く、暖かさが感じられる。また、教員が独自に提供している遊びにも工夫がなされ、子どもが発想を膨らめる為に十分な材料が用意されている。園庭には創立当初からの巨木があり、木陰が多く遊ぶ環境として相応しい。園庭の植栽に四季を感じ得る配慮がなされている。また、砂場、遊具、屋上のポール遊び場等、進取に富んだ環境作りが感じられる。園の経営者の、園児を限りなく慈しむ心映えが強く感じられた。

**教師：**教師が、一人一人の子ども達の心に寄り添い、小さな進歩も真摯にほめ、心身の育ちをじっくりと見据えている。教師間の連携がなされていて、ティーム保育の大切さを感じた。更に笑顔を持って、連携を深めていってほしい。

**本園の教育方針の到達度：**キリスト教の「愛の精神」による保育の心を掲げ、全教員が園長を中心に努力している。また、子ども達の生活や遊びの姿の中にも本園の教育方針の浸透ぶりが伺える。卒園児は各小学校においてリーダーシップを発揮し、勉学に勤しんでいる姿からも、本園の教育の良さが伺える。

**今後への課題：**自園給食についてのアピール、ホームページの充実、当園の実態や、教員の研修等、努力している姿を広く知らせることで園児獲得に繋がると思う。

## 2事業報告

平成22年度は次の基本方針に基づいて事業に取り組んだ。

1. 当園創立64年の歴史の中で培われてきたものを見つめ直し、時代に即した教育内容にするべく、幼稚園教育要領の理解を深め、教育課程の編成をし、指導計画を作成した。また、幼児の実態に即して作成されているか定期的に見直し、問題点について討議した。県、市主催の研修会には積極的に参加し教員の資質向上につなげた。
2. 特別支援を要する園児の援助方法について、講師を招いて研修を重ねた。
3. はごろも教育研究奨励会補助金を受け、打楽器演奏会を開催した。
4. 教職員の自己点検自己評価、学校評価を実施し、学校関係者評価委員会からコメントを受けた。
5. 未入園児遊びの会を毎月実施した。大変好評であった。
6. ワーク(父親保育参加)を実施し、父親に保育の理解と子育ての楽しさを実感してもらった。
7. 私立幼稚園緊急環境事業補助金により、昨年度末に屋上のプールを買い換え猛暑の夏をプール遊びで気持ち良くすごせた。
8. ホームページの内容を毎月更新して、当園のアピールを図った。

実施月	事業内容
4月	入園式(新入園児55名 保護者 98名参加) 父母の会総会開催(79名参加) 記念講演 講師:(株)サンリ取締役社長 メンタルトレーナー 西田一見先生 演題:「脳の使い方次第で、子供はのびのびと夢を実現できる」
5月	健康診断(内科・歯科) バイブルクラス(聖書研究会 講師:清水教会牧師 高橋 信先生) 未入園児の会2回(親子140名参加) ワーク・よもぎダンゴ作り(父親2名参加) 理事会、評議員会開催 学校関係者評価委員会開催 21年度財務状況、学校関係者評価等の結果及び改善策をホームページ公開 清水区教員全体研修会参加 市内中学生職場体験受け入れ
6月	親子で過ごす日(環境教育指導員によるネイチャーゲーム 於、芝生公園 親子兄弟414名参加) 交通教室 プール遊び(屋上) ワークじゃが芋・玉ねぎ堀り(父親 4名参加) カレーパーティー バイブルクラス ワーク・貝殻拾い(三保海岸 父親6名参加) るくる園外保育(母親4名参加) 未入園児の会2回(親子124組参加) さつまいも苗植え付け 清水区研修会参加 保育実習生受け入れ 父母の会(めぐみ祭準備 共同作業)
7月	七夕飾りを清水駅前銀座に出品、見学 プール遊び(屋上) 保護者面接 バイブルクラス 夜店 お泊まり保育(天城山荘 年長児) 未入園児の会(親子79名参加) ワーク・プール遊び(父親7名参加) ワーク・日本平運動公園(父親6名参加) 教員自己点検、自己評価 清水区研修会参加
8月	夏期保育実施 教員夏期研修会参加 未入園児の会(親子61名参加) 子育て支援カウンセリング講座参加 清水区教員全体研修会参加 預かり保育実施
9月	お月見団子作り プレイデイ(入園説明会 80名参加) プール遊び(屋上) バイブルクラス ワーク・沢遊び(父親5名参加) ワーク・遊木の森(父親8名参加) 未入園児の会(親子64名参加) 防災訓練実施 保育実習生受け入れ 園外保育(どんぐり拾い)
10月	運動会(桜ヶ丘スポーツ広場) 秋のベア遠足 めぐみ祭(バザー) 未入園児の会(親子79名参加) ワーク・遊ぶものづくり(父親8名参加) 静岡市連合会研修会参加
11月	ワークさつまいも堀り(父親7名参加) ワーク焼き芋(父親3名参加) 保育参加会(保護者188名参加) 収穫感謝祭 感謝祭(祖父母の会 祖父母194名参加) 未入園児の会(親子65名参加) バイブルクラス 視力検査 清水区PTAバレー参加 清水区研修会参加
12月	クリスマス会(保護者197名参加) 新入園児クリスマス会(親子82名参加)、クリスマスバイブルクラス、 クリスマスコーラス練習 未入園児の会(親子62名参加) 教員自己点検、自己評価 きののいい羊 遊びの会 保護者アンケートの実施 冬休み預かり保育実施
1月	記念写真撮影 ワーク一本松山登り(父親9名参加) 未入園児の会(親子54名参加) 雪遊び遠足(グリンパ 親子128名参加) バイブルクラス 角笛シルエット観劇 新入園児用品販売 公開保育(保育所、小学校より見学者あり) 清庵地区新春親子凧揚げ大会参加 学校関係者評価委員会より自己評価についてコメントを受ける 視力検査実施
2月	節分豆まき ワーク:日本平ハイキング(父親4名参加) ワーク:おもちつき(父親7名参加) 木工遊び(父親7名参加) 園芸(23名参加) 保育参加会(保護者173名参加) 未入園児の会(親子68名参加) バイブルクラス 清水区幼稚園協会主催5歳児絵画展出品 保育実習生受け入れ 父母の会親睦バレー大会(62名参加)
3月	ひなまつり お別れ遠足(日本平動物園) 未入園児の会(親子79名参加) バイブルクラス 新入園児説明会 卒園式(園児56名 保護者97名参加) 視力検査 理事会、評議員会開催 学校関係者評価委員会開催 教員自己点検、自己評価 講師による教員研修会(次年度計画の推進) 春休み預かり保育実施 東日本大震災に対し義捐金を募り、全日私幼連、仙台市の幼稚園へ向けて送った 地震防災対策検討会議を設けた